

◆ 学 位	学 位 名	文学修士 大阪大学	
	取得方法	論文 平成 1 年取得	
◆ 学 歴	大 学	東京芸術大学音楽学部楽理科 昭和 49 年卒業	
	大 学 院	大阪大学大学院文学研究科博士後期課程 平成 4 年単位取得退学	
◆ 学 内 職 務 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 補導厚生委員 ▪ 教職支援委員会委員 		
◆ 担当授業科目 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教育演習 I、II (音楽科) ▪ 音楽 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 音楽理論 ▪ 保育内容研究 V (表現・音楽)
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 中学校・高等学校教員免許 (昭和 49 年) 			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
音楽教育学	音楽学	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 童謡復興運動 ▪ イタリア・ルネサンス 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 唱歌 ▪ 宮廷社会と音楽
◆ 研究概要	(1) 童謡復興期の音楽教育についての研究 (2) 15~16 世紀のイタリア宮廷社会における音楽をめぐる諸問題についての研究		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本音楽学会 ▪ 待兼山芸術学会 		
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪			
▪			
▪			
▪			
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
「イタリア・ルネサンス宮廷社会における音楽の機能をめぐって—生命化の装置としてのヴィッラネッラー」	単	平成 5 年 9 月 20 日	『音と言葉』(谷村晃先生退官記念論文集) 音楽之友社
「完全なる人間を育むために—ルネサンス初期イタリア人文主義者の音楽教育観—」	単	平成 18 年 12 月 20 日	『四天王寺国際仏教大学紀要』人文社会学部第 43 号 (pp. 219-235)
「唱歌教育と童謡復興運動にみる初等科音楽教育の提言についての一考察」	単	平成 19 年 3 月 25 日	『四天王寺国際仏教大学紀要』人文社会学部第 44 号 (pp. 193-205)
「童謡は唱歌に代わりえたか—小学校音楽科教材としての童謡についての一考察—」	単	平成 20 年 3 月 25 日	『四天王寺国際仏教大学紀要』人文社会学部第 45 号 (pp. 273-278)

「童謡復興期の初等科音楽教育理念について の一考察—音楽教育者の唱歌および童謡観を手がかりとして—」	単	平成 20 年 9 月 25 日	『四天王寺大学紀要』人文社会学部・教育学部・経営学部 第 46 号 (pp. 193-206)
◆ その他 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪			
▪			
▪			
▪			
▪			